



2020年3月4日

各 位

会 社 名 M R T 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 小 川 智 也
(コード番号: 6034 東証マザーズ)
問い合わせ先 取締役 西 岡 哲 也
TEL. 03-6415-5295

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

当社は、以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

開催状況

開 催 日 時 : 2020年2月21日(金) 10:00～10:29
開 催 方 法 : 対面による開催(機関投資家・アナリスト向け)
公益社団法人 日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル分室
開 催 場 所 : 第3セミナールーム
(東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル3F)
説 明 会 資 料 名 : M R T 株 式 会 社 2019年12月期 決算説明会

【添付資料】

投資に関する説明会において使用した資料

以上

MRT株式会社

2019年12月期
決算説明資料

2020年2月21日

I. 企業価値

II. 2019年12月期 決算概要

III. 2020年12月期 基本方針

IV. 2020年12月期 業績予測

APPENDIX : 市場環境の現状

I. 企業価値

II. 2019年12月期 決算概要

III. 2020年12月期 基本方針

IV. 2020年12月期 業績予測

APPENDIX : 市場環境の現状

① **東大医学部発**医療ベンチャー ※2014年東証マザーズ上場
90%以上がロコミで集まった医師会員組織

② 取締役の**過半数**が医師
徹底した医療現場主義・医師目線

③ 医療のプラットフォーム
医療従事者 会員 **25万名** ※2020年2月時点、グループ全体

2000年1月
法人化

2014年12月
マザーズ上場

東大医学部附属病院の医師
(互助組織形態)

MRT
(株式会社形態)

医師の信頼関係で
つながった組織

医師同士が信頼関係のもと外勤(代診)
を相互に紹介する仕組みを形成

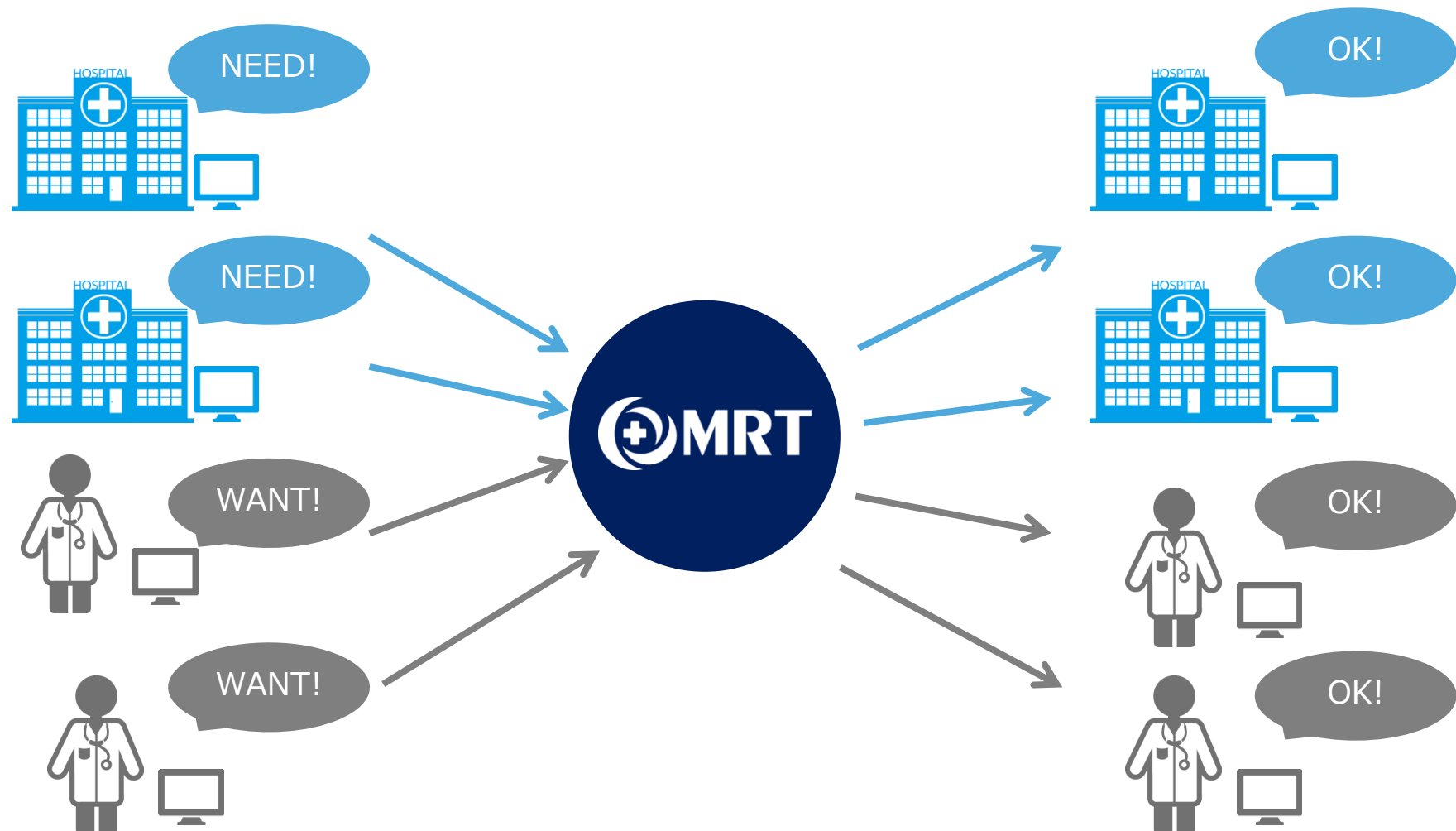
IT技術を活用して
システム化

信頼関係の継続と効率化により多くの
医師及び医療機関のマッチングを可能に

■ 医療現場主義・医師目線のサービス提供が強み

役職	氏名
代表取締役社長	小川 智也（医師）
取締役会長	富田 兵衛（医師）
取締役	西岡 哲也
社外取締役	明星 智洋（医師）
社外取締役	加藤 浩晃（医師）
社外取締役	雨宮 玲於奈
常勤監査役	加藤 博彦
監査役	原口 昌之
監査役	諫山 祐美
医学顧問	相川 直樹（医師・元慶應義塾大学病院長）

■ 毎日約**500名**の医師をご紹介



■ 医師を中心に事業展開

社名	参画 時期	事業				
		医療人材キャリア コンサルティング		開業 M&A 承継 (医療機関)	プロ モーション (医師)	医療経営 コンサル ティング (医療機関)
		医師	コメ ディカル			
株式会社NOSWEAT	2017年 1月		○			
株式会社医師のとも	2017年 12月	○		○	○	
株式会社 日本 メディカルキャリア	2018年 3月	○	○			
株式会社anew	2019年 8月					○

※コメディカルとは、看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、放射線技師であります。

株式会社anewは2019年12月期第2四半期より連結子会社となっております。

株式会社CBキャリアは2020年2月1日を以て株式会社日本メディカルキャリアに社名変更をしております。



※株式会社anewは2019年12月期第2四半期より連結子会社となっております。
株式会社日本メディカルキャリアは2020年2月1日を以て株式会社CBキャリアより社名変更したものであります。

I. 企業価値

II. 2019年12月期 決算概要

III. 2020年12月期 基本方針

IV. 2020年12月期 業績予測

APPENDIX : 市場環境の現状

■ 通期**過去最高**営業利益の予想超過額

	2018年 4-12月	2019年 3月期	2019年 12月期	
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (業績予想) (百万円)	前年同一 期間比 (%)
売上収益	1,727	2,232	1,973 (1,900)	114.2
営業利益	164	52	198 (120)	120.7
税引前利益	275	160	186 (110)	67.9
親会社の所有者に 帰属する 四半期利益	180	97	108 (70)	60.0

■ 売上収益

(対前年同一期間増減率)

14.2%

- ・ 医師紹介サービスによる売上増加

■ 営業利益

20.7%

- ・ 売上収益の増加（営業利益増加要因）
- ・ 営業外債権の貸倒引当金の増加（営業利益減少要因）

■ 税引前利益

▲32.1%

- ・ 前期関連会社株式の売却等による
非経常利益128百万円計上
影響除く実質増減

27.7%

※連結業績予想は、2019年6月21日に公表しました業績予想であります。

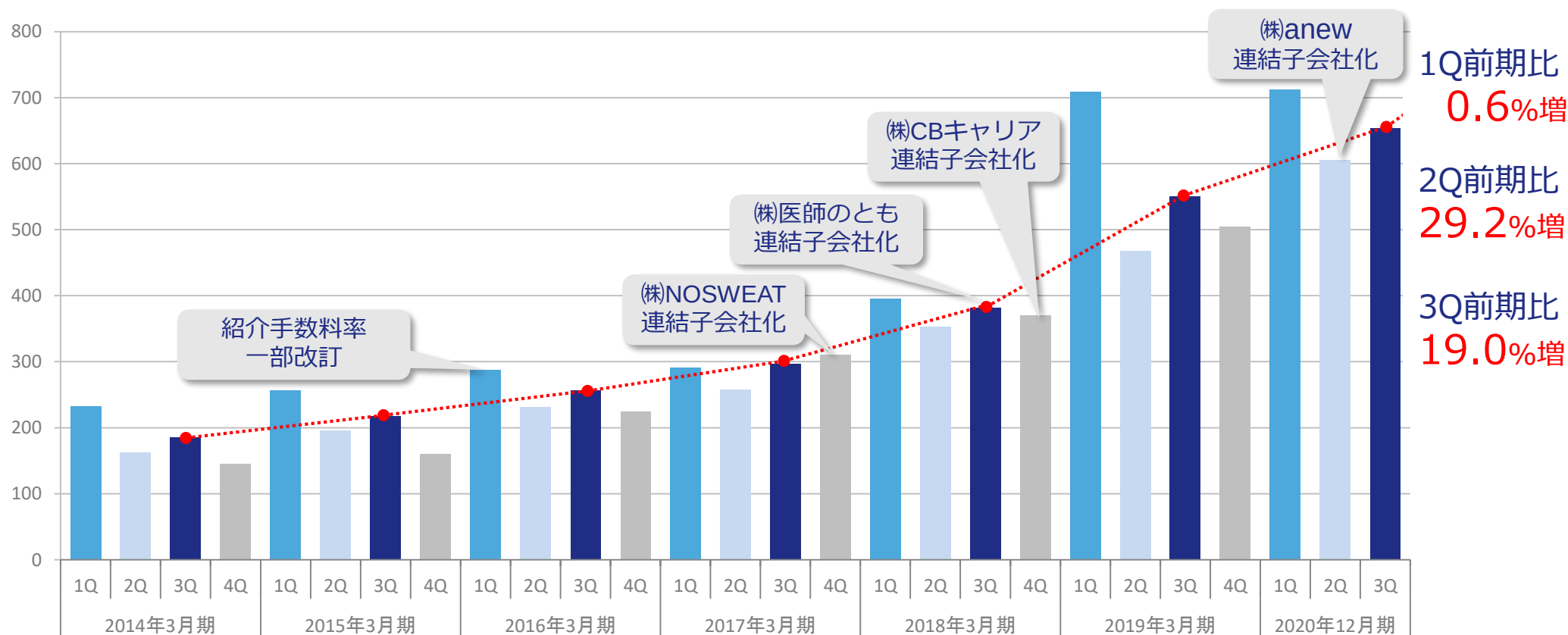
2019年12月期は、決算期変更により2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月となっております。

■ 2019年12月期の各四半期において**過去最高**売上収益を更新

4月～12月前期比

14.2%増

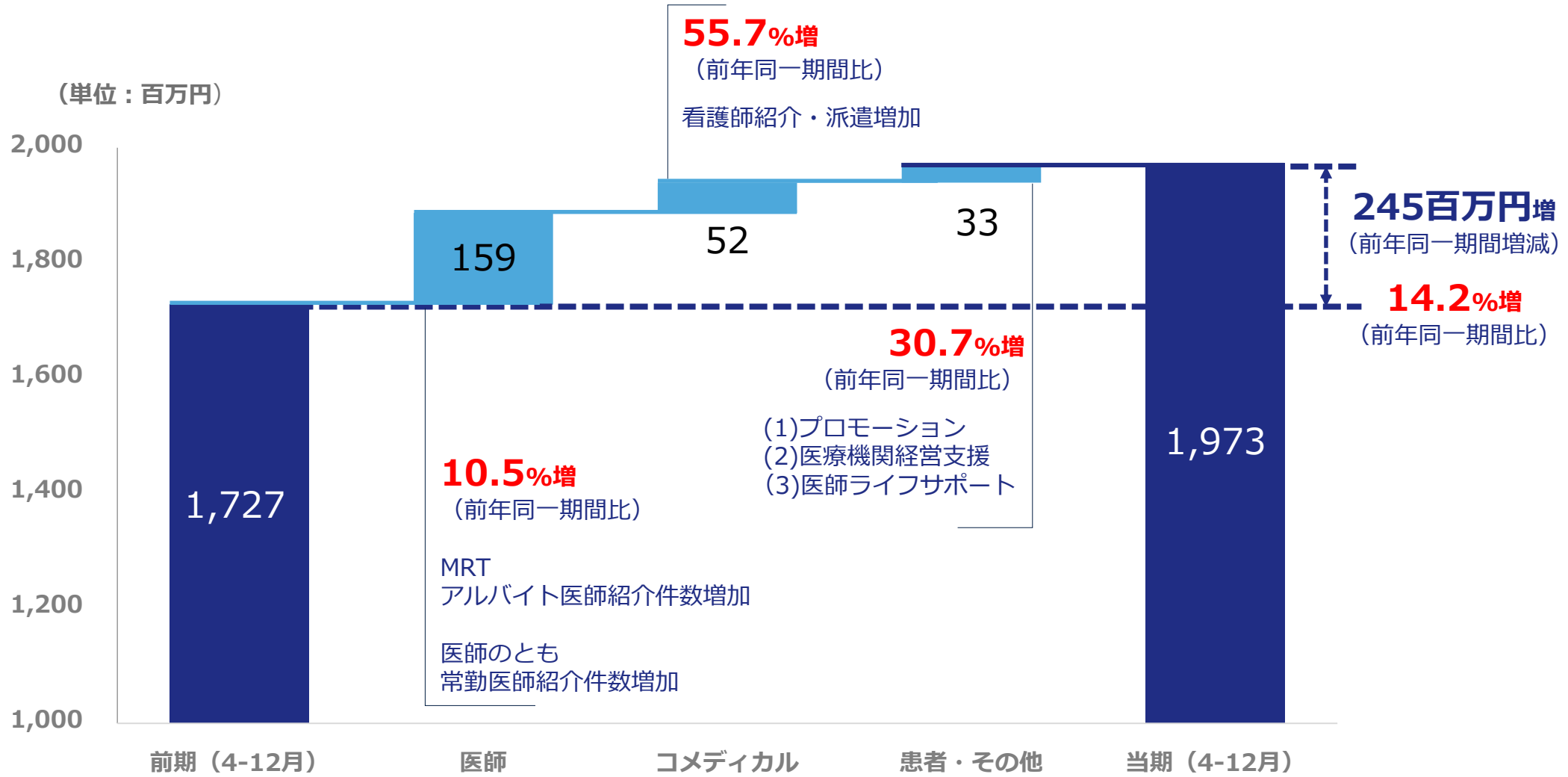
(単位：百万円)



※1Qの売上収益は医師の転職件数の季節変動要因により、他の四半期に比して大きくなる傾向。2016年3月期以前の売上収益は、日本基準を記載。

株式会社CBキャリアは2020年2月1日を以て株式会社日本メディカルキャリアに社名変更をしております。

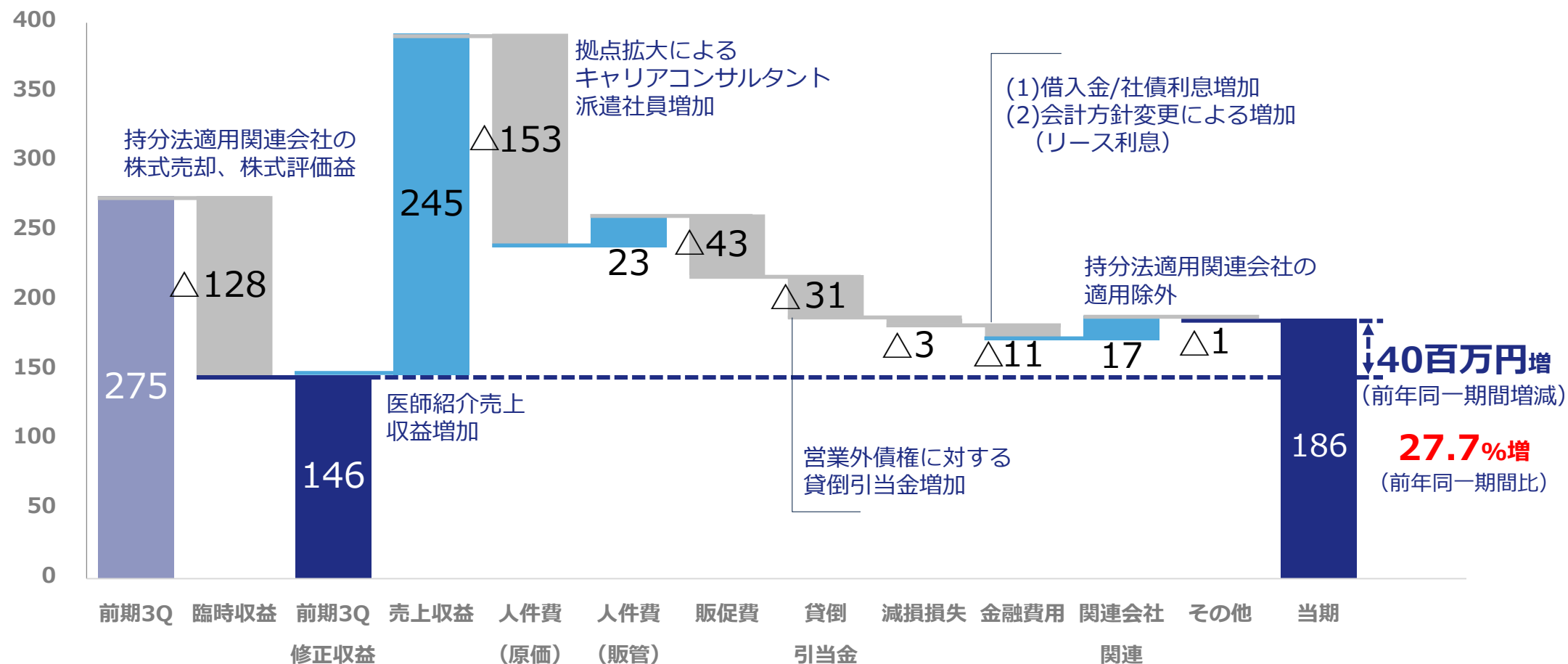
■ 医師紹介件数増加などにより **245百万円**増加



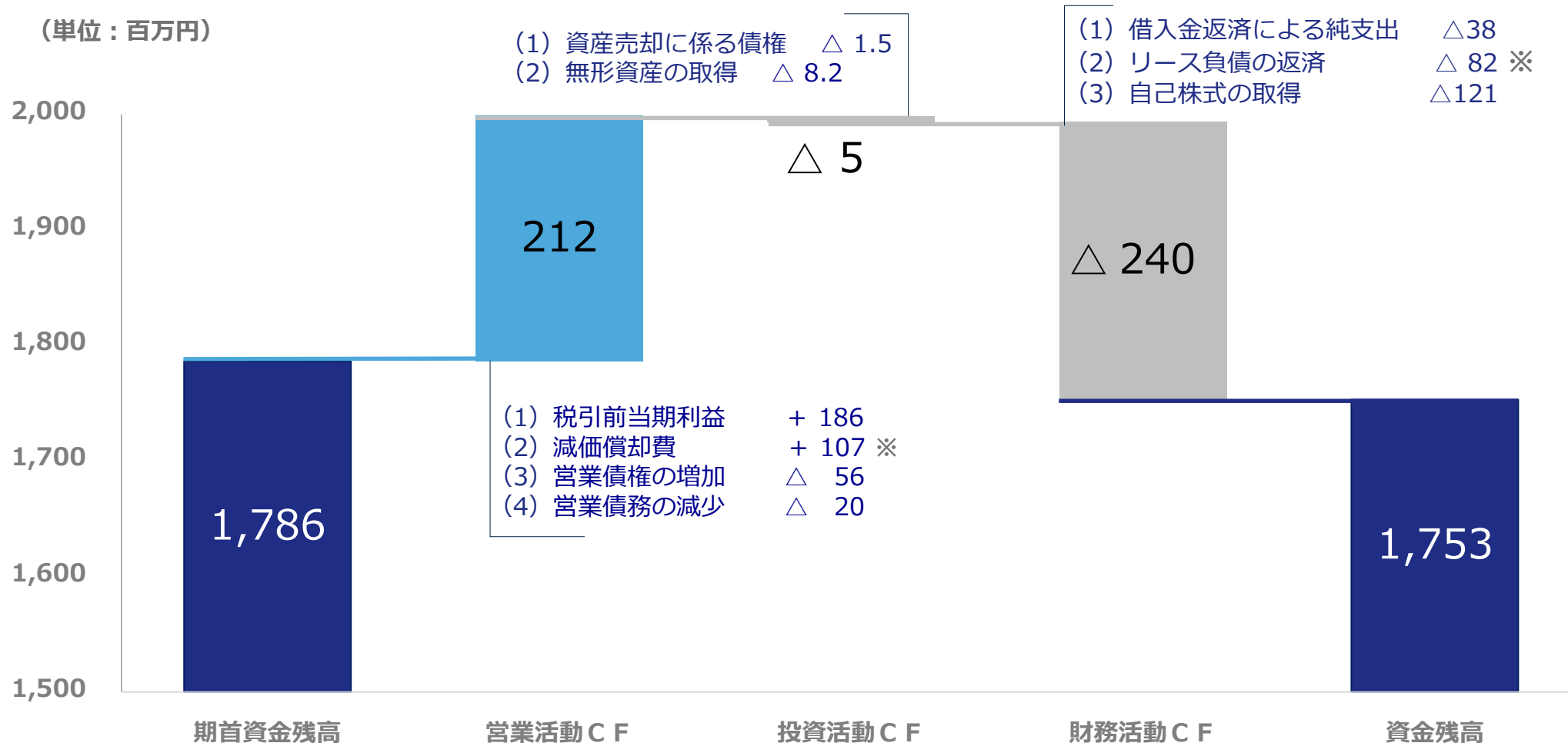
税引前当期利益変動要因

- 営業利益 : 販促活動費用及び営業外債権の貸倒引当金増加
- 税引前当期利益 : 前期の臨時収益項目を除き、**40百万円**純増

(単位：百万円)



■ 財務活動による支出 **240百万円** (自己株取得、家賃支払※)



※将来支出する地代家賃等を使用権資産（資産）、リース負債（負債）として認識しております。
家賃の支出をリース負債の返済とし、使用権資産を償却することで費用計上しております。

■ 2019年4月～12月の取組

紹介サービスエリア強化

- 大阪支社、単月黒字化達成
- 東海営業拠点の強化

経営支援・運営支援サービス

- 新規連結子会社、株式会社anew
- 医療機関向けサービスの拡充
 - ファクタリングサービスリリース
 - RPO（採用代行）サービスリリース
 - 振込代行サービスリリース

システム開発

- 基幹システム再構築(紹介サービス)
 - 運用開始、2020年度
- 共有プラットフォームの構築
 - 運用開始、2020年度

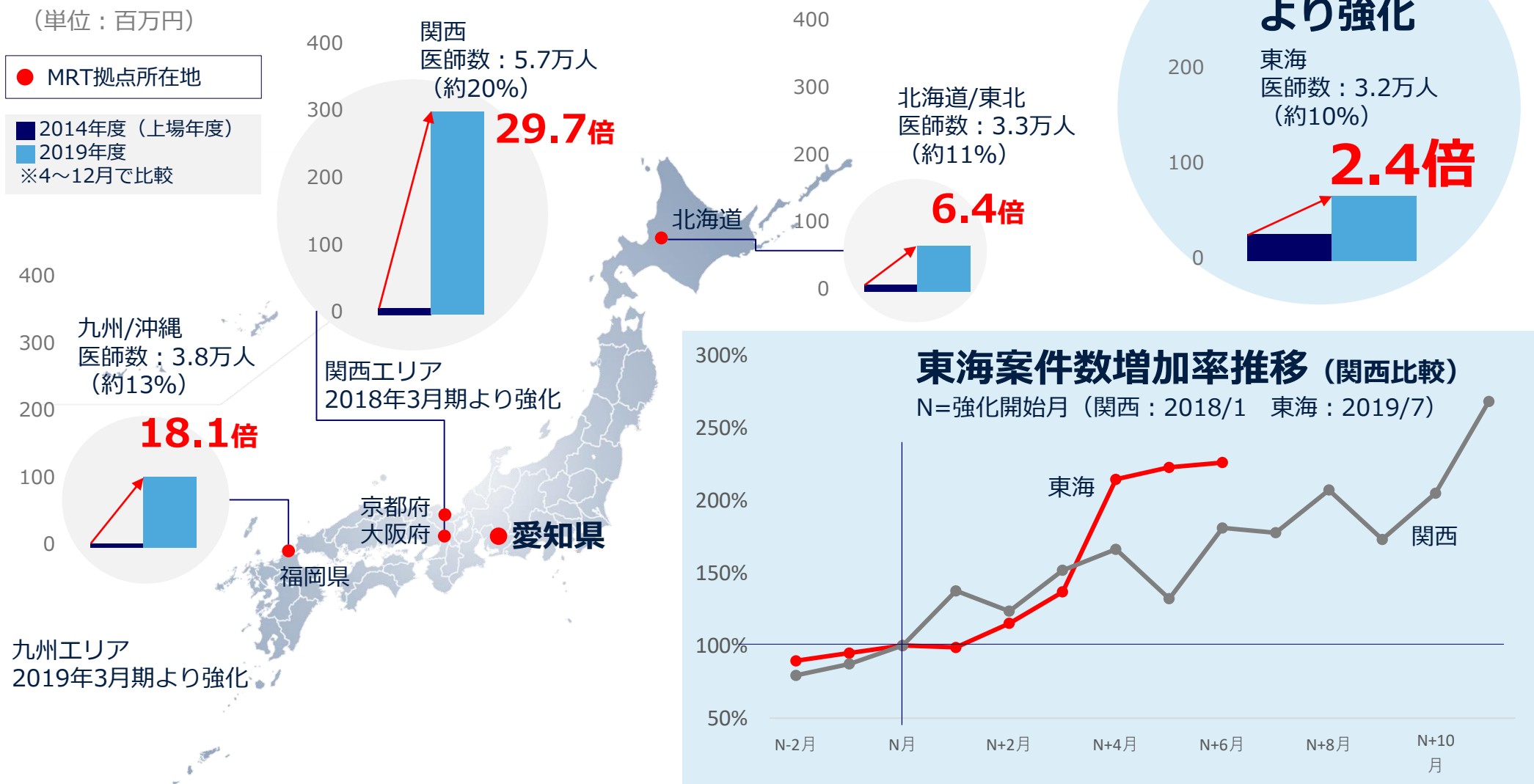
自己株式の取得

- 2019年8月16日買付開始
- 買付株数：140,700株
(上限190,000株)
- 取得総額：120百万円
(上限150百万円)

■ 上場時から推進する拠点展開により売上成長率上昇

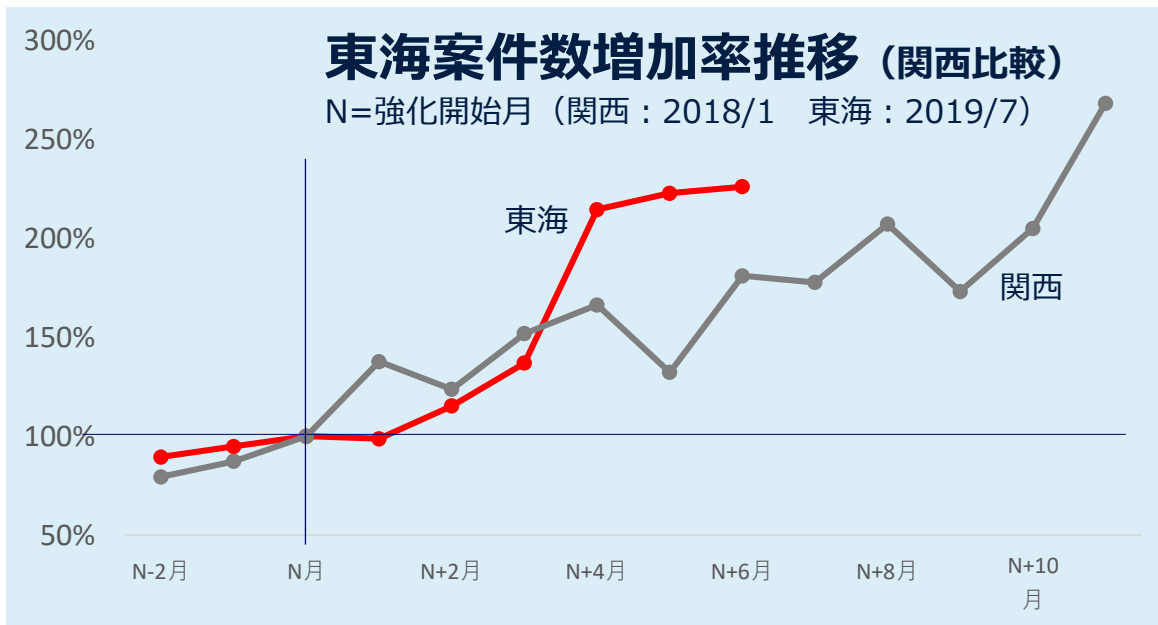
■ 東海、紹介案件数急速に**拡大**

(単位：百万円)

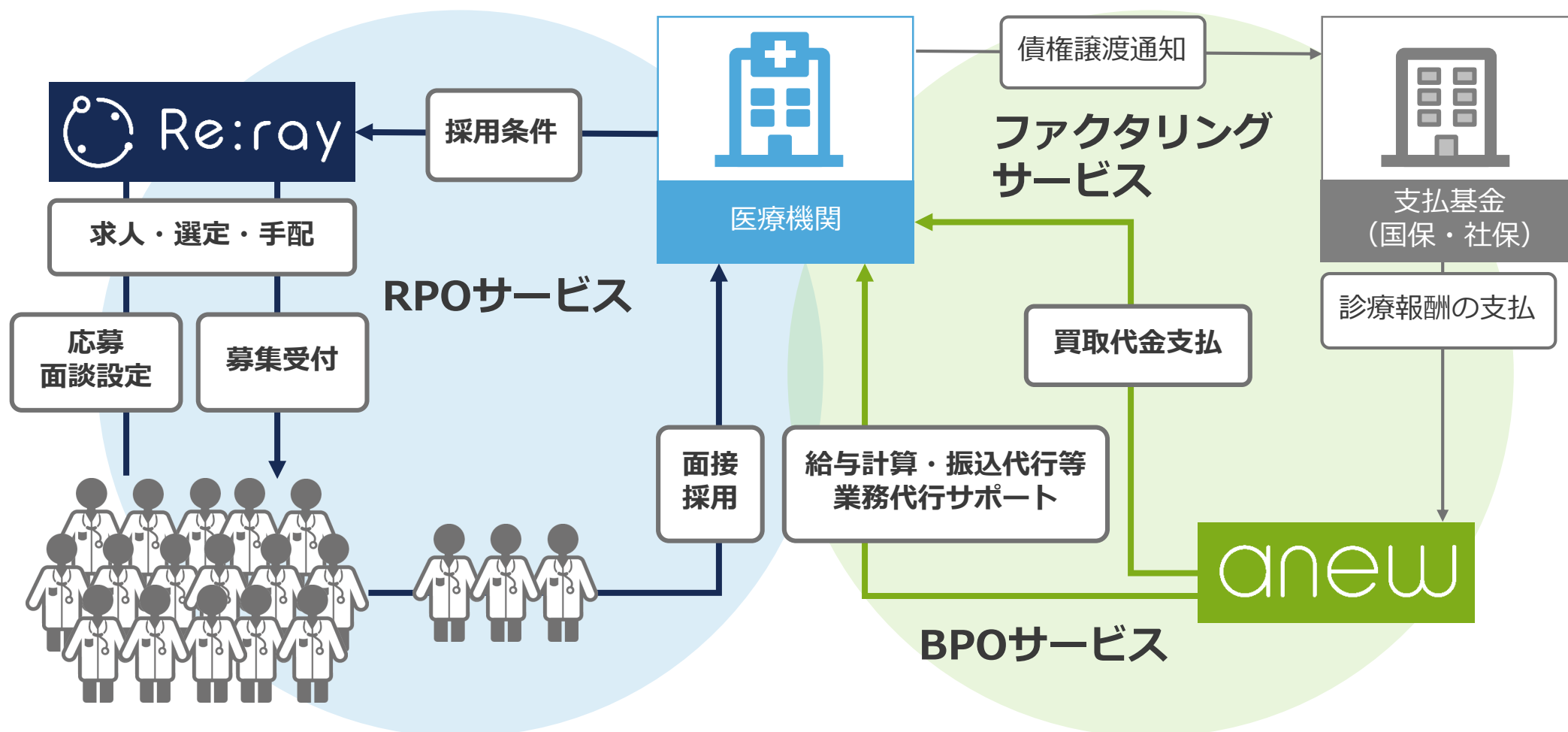


東海案件数増加率推移（関西比較）

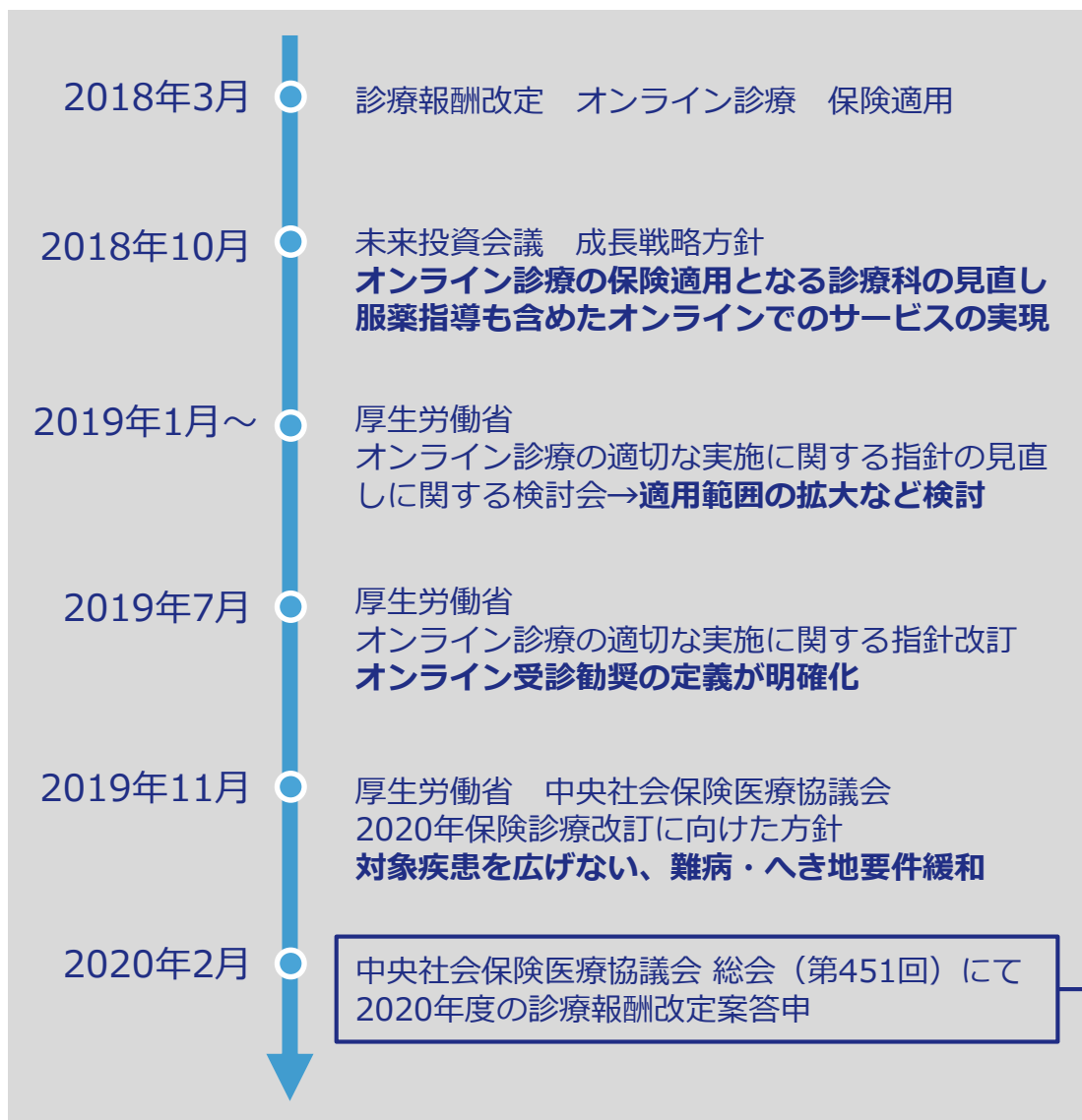
N=強化開始月（関西：2018/1 東海：2019/7）



- 採用アウトソーシング「Re:ray」リリース
→ 医療機関のバックオフィス業務を請負



■ 2020年診療報酬改定案答申にて要件緩和の傾向



オンライン診療

■ オンライン診療料

事前の対面診療の期間を6月から3月に見直す
定期的に通院が必要な慢性頭痛患者を追加する
へき地において初診算定可能となるよう見直す

■ オンライン在宅管理料

月2回以上の訪問診療で算定可能となるよう見直す

■ ニコチン依存症管理料

2回目から4回目に情報通信機器を用いた診療に係る
評価を新設する

オンライン服薬指導

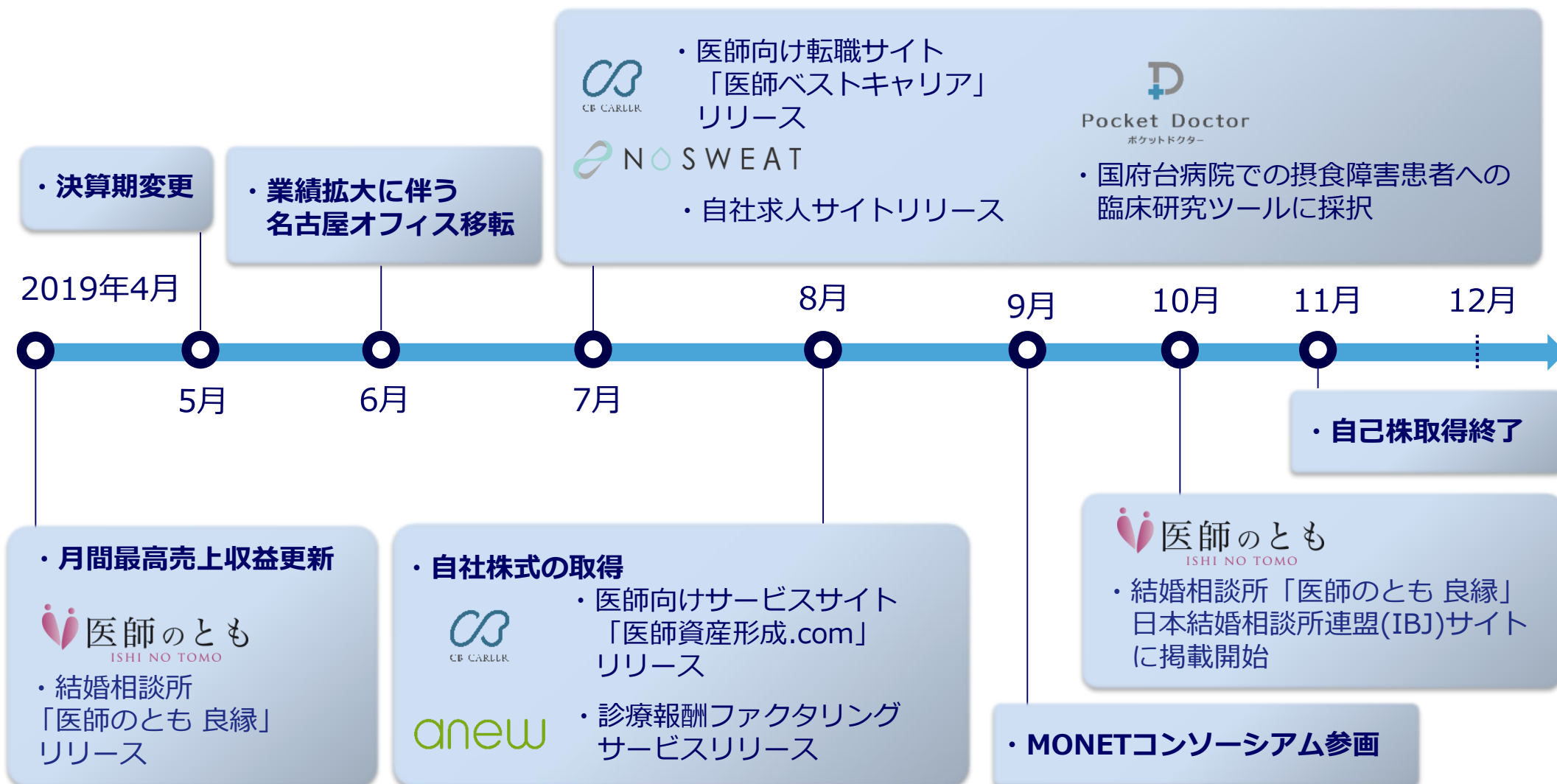
■ 薬剤服用歴管理指導料

外来患者・在宅患者に対するオンライン服薬指導の評価
を新設する

医療機関への周知・啓蒙 さらなる活用の基盤強化

出典：中央社会保険医療協議会 総会（第451回）答申
「総－1 個別改定項目について」

■ 各種サービスの拡大を実現



※株式会社CBキャリアは2020年2月1日を以て株式会社日本メディカルキャリアに社名変更をしております。

I. 企業価値

II. 2019年12月期 決算概要

III. 2020年12月期 基本方針

IV. 2020年12月期 業績予測

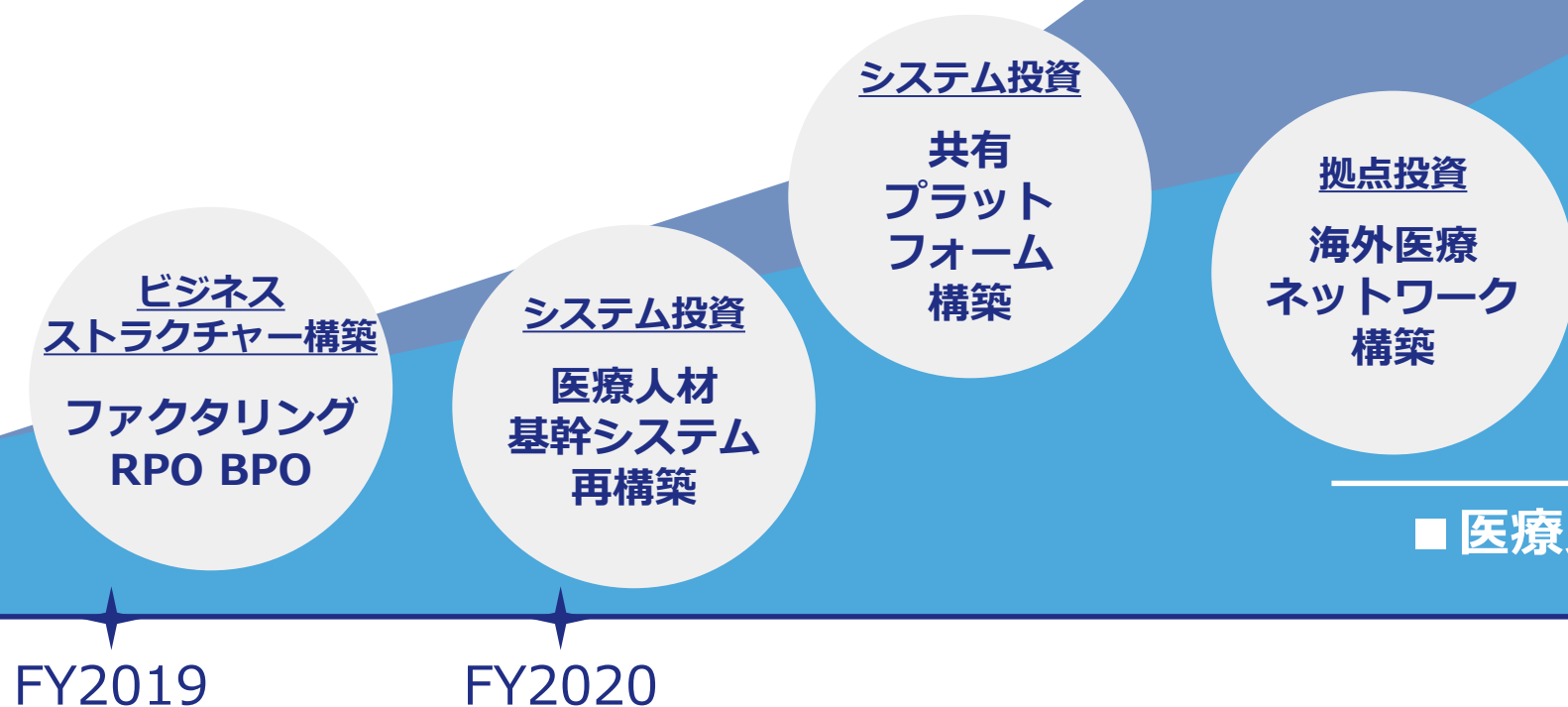
APPENDIX : 市場環境の現状

■ 企業価値向上に向けた2020年12月期の取組

- ① マッチング向上と効率化のためのシステム投資
- ② 経営資源の最大活用のためのグループ情報共有
- ③ 海外事業展開に向けた基盤構築

■ オンラインサービス
その他

■ 医療人材サービス

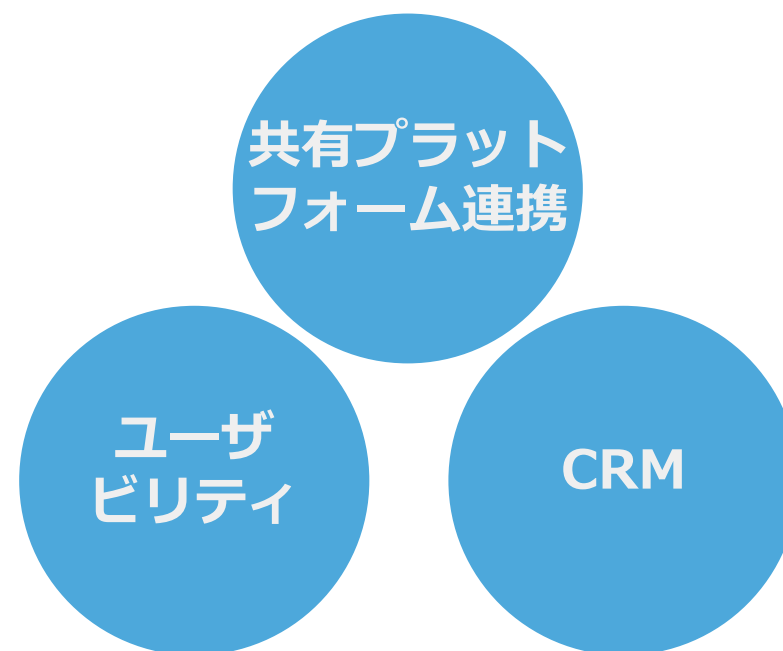


- MRT医療人材マッチングの根幹である基幹システムをリニューアル
(2020年春以降順次リリース予定)

企業環境の変化



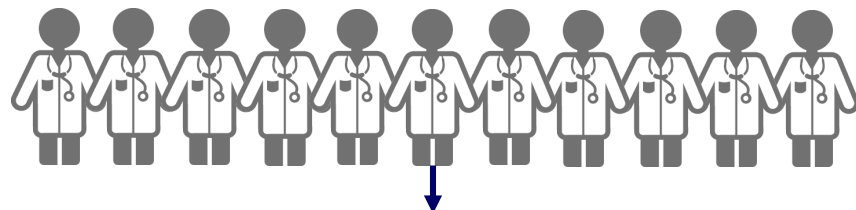
業務向上/効率化



今後の展開に備え汎用性の高いシステムに改善

2. 情報の共有化

- 共有プラットフォームを構築し、グループ内情報の共有化を実現
(2020年春以降順次リリース予定)



共有プラットフォーム

適切なマーケティング

サービス品質の向上・多様化

アライアンスM&A
効果最大化

 医師のとも
ISHI NO TOMO

医師+  女医+ 
[いしおらす] [じょいおらす]

医師×医療機関

医師×企業

 Gaikin

 career

 Pocket Doctor

 ネット医局

 緊急安否
FAST-CALL

医師×医療機関

医師×医局/企業

医師×患者



株式会社
日本メディカルキャリア※

医師×医療機関

※株式会社日本メディカルキャリアは2020年2月1日を以て株式会社CBキャリアより社名変更したものであります。

3. 海外事業展開について

■ A4MのJapan支部として、海外ネットワークを構築



A4M学会※₁の教育機関であるMMI※₂は、120 カ国以上の世界各国ヘルスケア・疾病予防のために必要な情報を公開

学会を通じて海外医療機関
ネットワーク構築

高度な医学・ヘルスケア教育情報提供
により医療従事者ネットワークの構築

海外に向けた医療人材紹介事業構築

※ 1. A4M (American Academy of Anti-Aging Medicine) とは、世界最大級のアンチエイジング医学会として、120カ国以上の国々の医師、科学者、公的機関職員、一般市民などを含む約26,000名に及ぶ会員を擁する米国抗老化医学会です。

2. MMI (Maboratory Metabolic Medical Insutitute) とは、開業医と関連医療専門家が利用できる高度な医学教育機関です。

■ 2020年12月期にサービスの統合及び縮小

ネット医局

2012年3月
医局向けグループウェア
提供としてサービス展開

- ①システムのリプレイス
に多額の投資が必要
- ②シナジー効果が希薄
- ③マネタイズポイントが
未構築

共有プラットフォームに 統合予定

売上収益	影響無	—
コスト	削減	↓
サービス連携	大	↑

派遣 サービス

2018年6月
関東エリアに試験的参入

- ①同一労働同一賃金(※)
による派遣サービスの
事業環境の変化
- ②派遣スタッフの管理
コストの大幅増加

2020年春、関東エリア サービス縮小

売上収益	減少	↓
コスト	削減	↓
営業利益	増加	↑

※改正労働者派遣法が2020年4月1日より施行、同一企業・団体におけるいわゆる正規雇用労働者（無期雇用フルタイム労働者）と非正規雇用労働者（有期雇用労働者、パートタイム労働者、派遣労働者）の間の不合理な待遇差がなく公正な待遇を確保するものです。（参考：厚生労働省ホームページ）

I. 企業価値

II. 2019年12月期 決算概要

III. 2020年12月期 基本方針

IV. 2020年12月期 業績予測

APPENDIX : 市場環境の現状

- **過去最高** 売上収益、税引前当期利益を予想
- **システム投資** を実施し、2021年度以降の収益に貢献

	2018年 3月期	2019年12月期			2019年 1-12月 (実績※)	2020年 12月期 (予想)	増減高 (成長率%)
	1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	10-12月 (実績)			
売上収益	504	713	605	653	2,477	2,500	+22 (0.9%)
営業利益	△111	112	59	25	86	250	+163 (188.6%)
税引前当期利益	△115	110	54	22	71	240	+168 (234.0%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△83	67	33	7	25	130	+104 (411.3%)

■ 売上収益 **0.9%**

(1) 派遣サービス縮小により売上収益増減率

△4.6%

(2) 上記サービス以外の売上収益増減率

5.5%

■ 営業利益 **188.6%**

■ 税引前当期利益 **234.0%**

(1) 派遣サービス縮小により損失の減少

(2) システム開発投資

※各四半期実績の単純合算を記載しております。

I. 企業価値

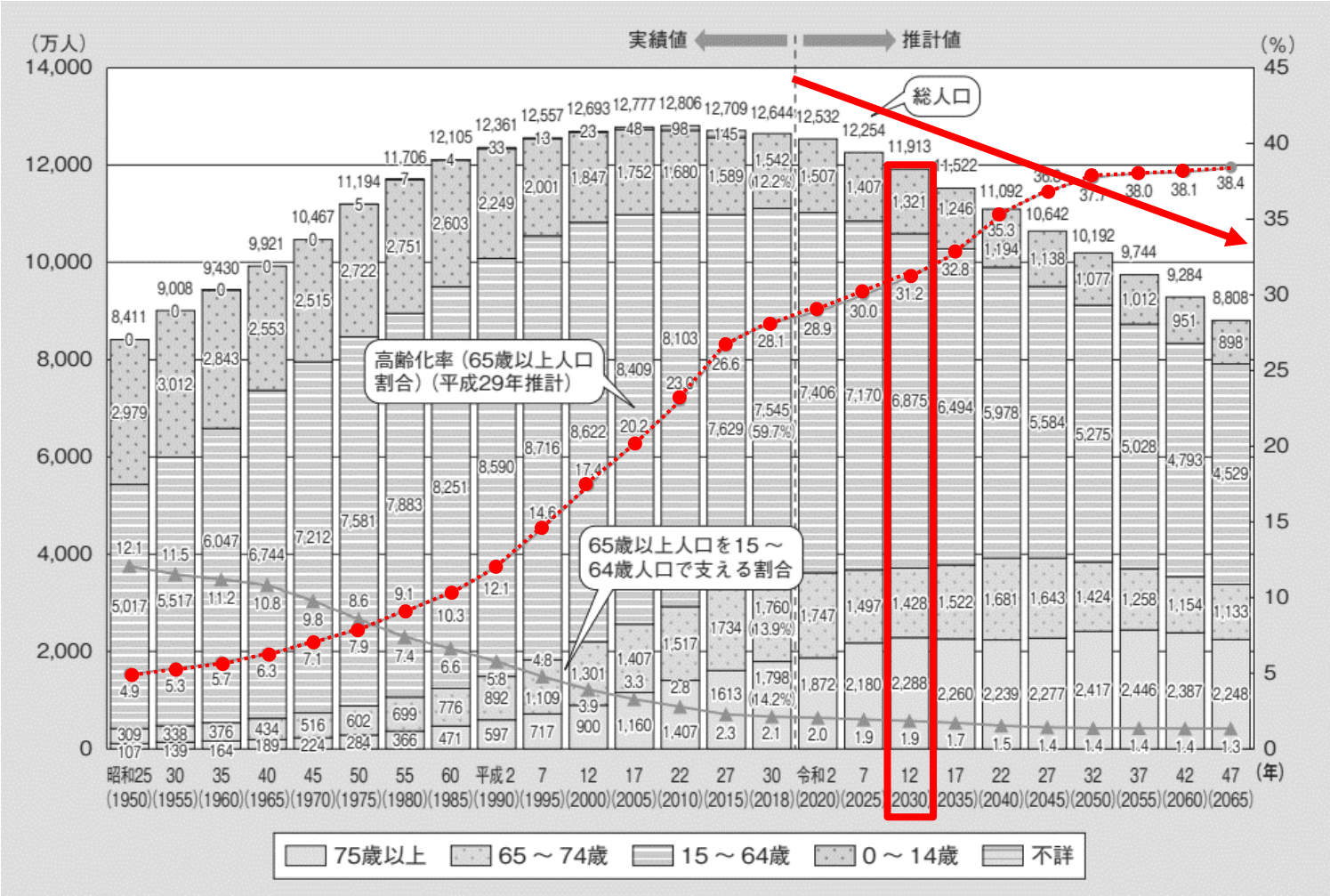
II. 2019年12月期 決算概要

III. 2020年12月期 基本方針

IV. 2020年12月期 業績予測

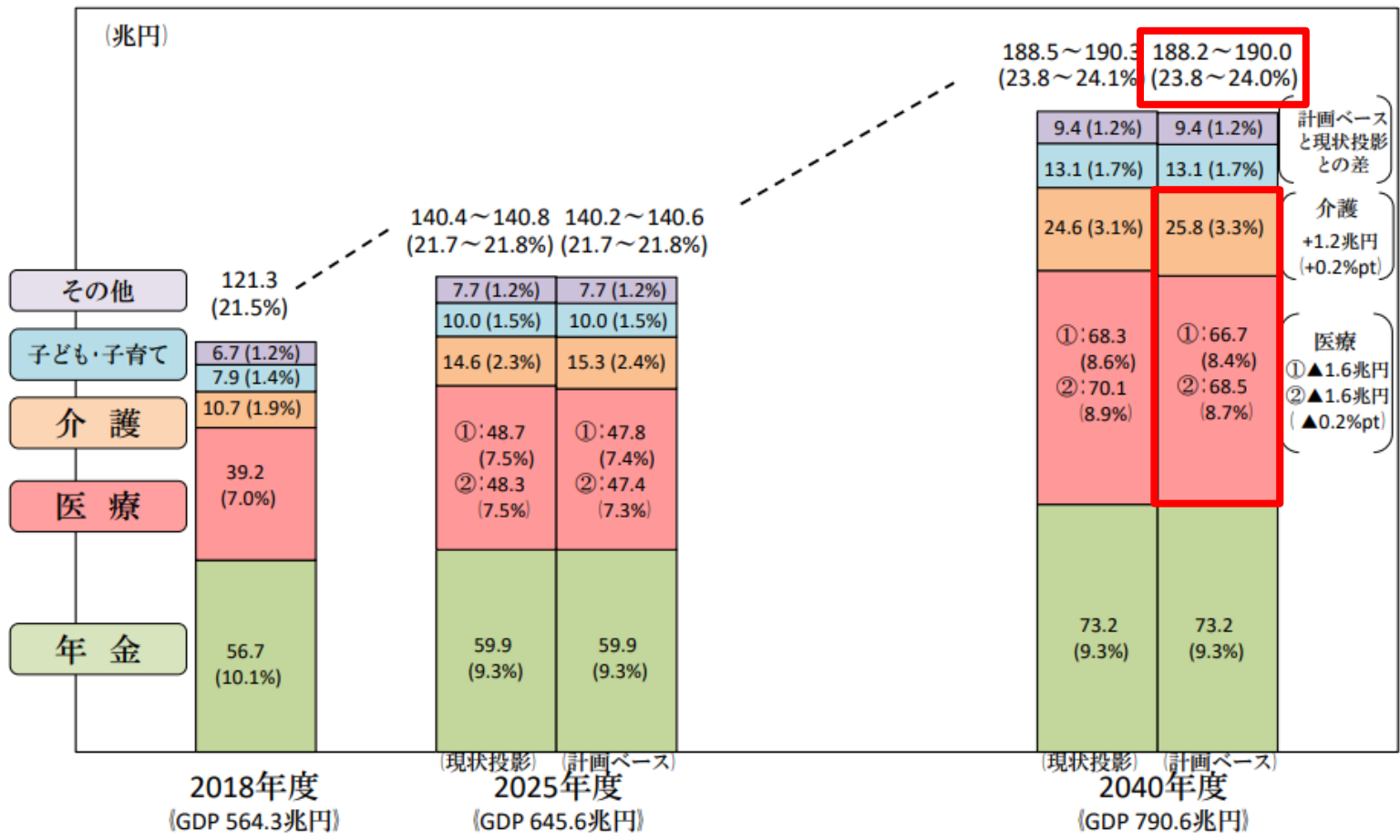
APPENDIX : 市場環境の現状

2030年 総人口1.2億人 65歳以上**31.2%**



出典：内閣府「年版高齢社会白書」第1章 高齢化の状況（第1節 1）

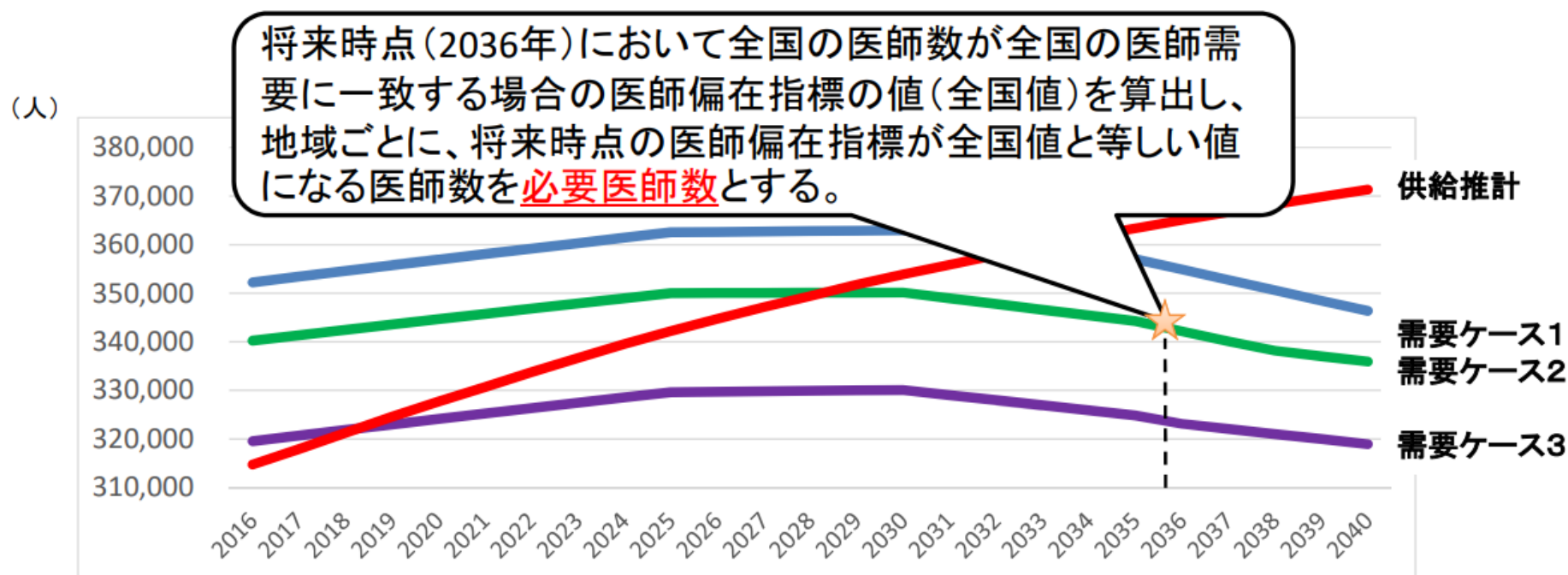
2040年、社会保障費は**190兆円**に
医療**68.5兆円** 介護**25.8兆円**



出典：内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省 「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」 平成30年 5月21日

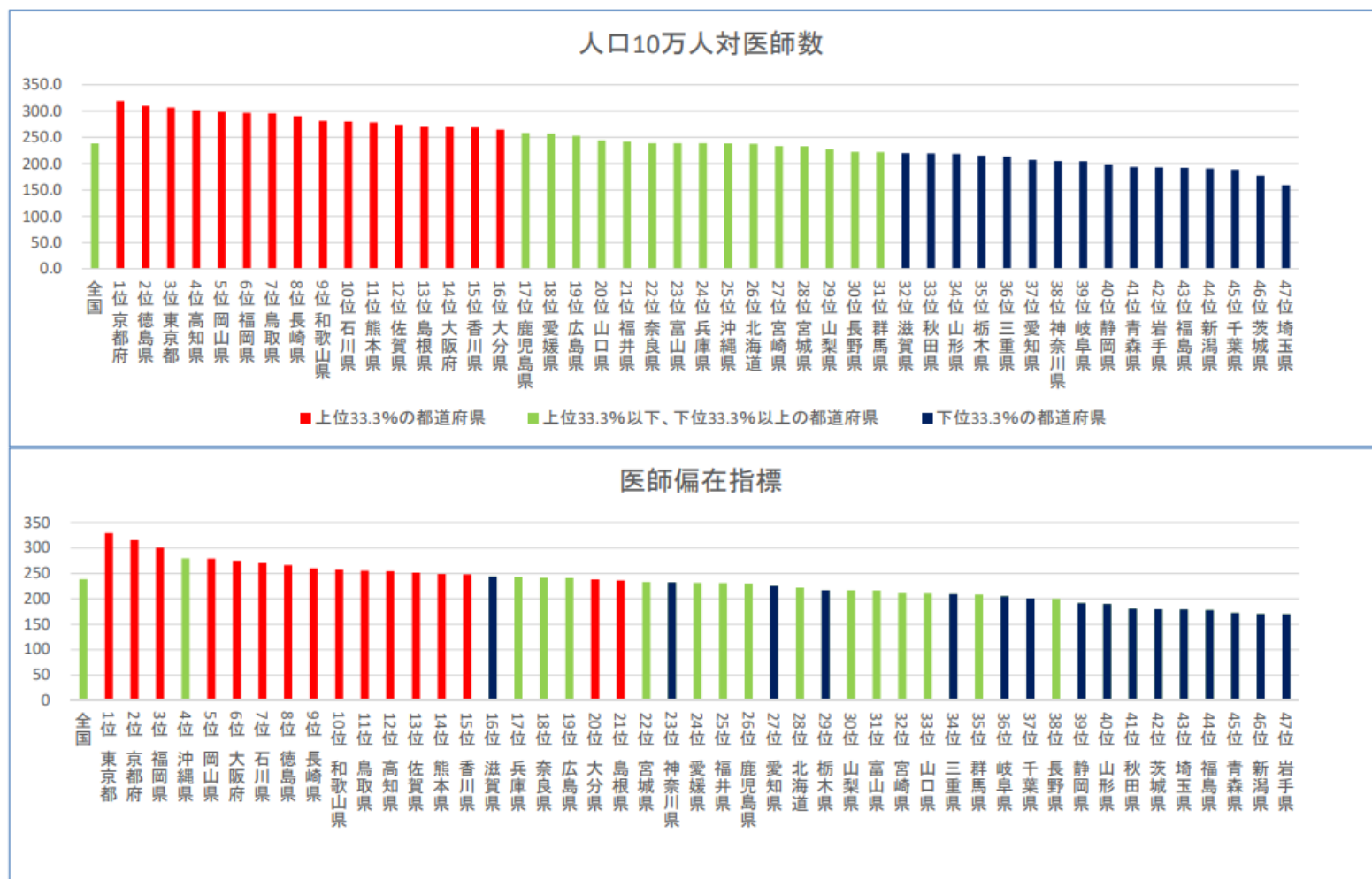
平成32年度医学部入学者が臨床研修を修了すると 想定される**2028年（平成40年）頃に均衡**すると推計

※労働時間を週60時間程度に制限する等の仮定をおく「需要ケース2」にて推計



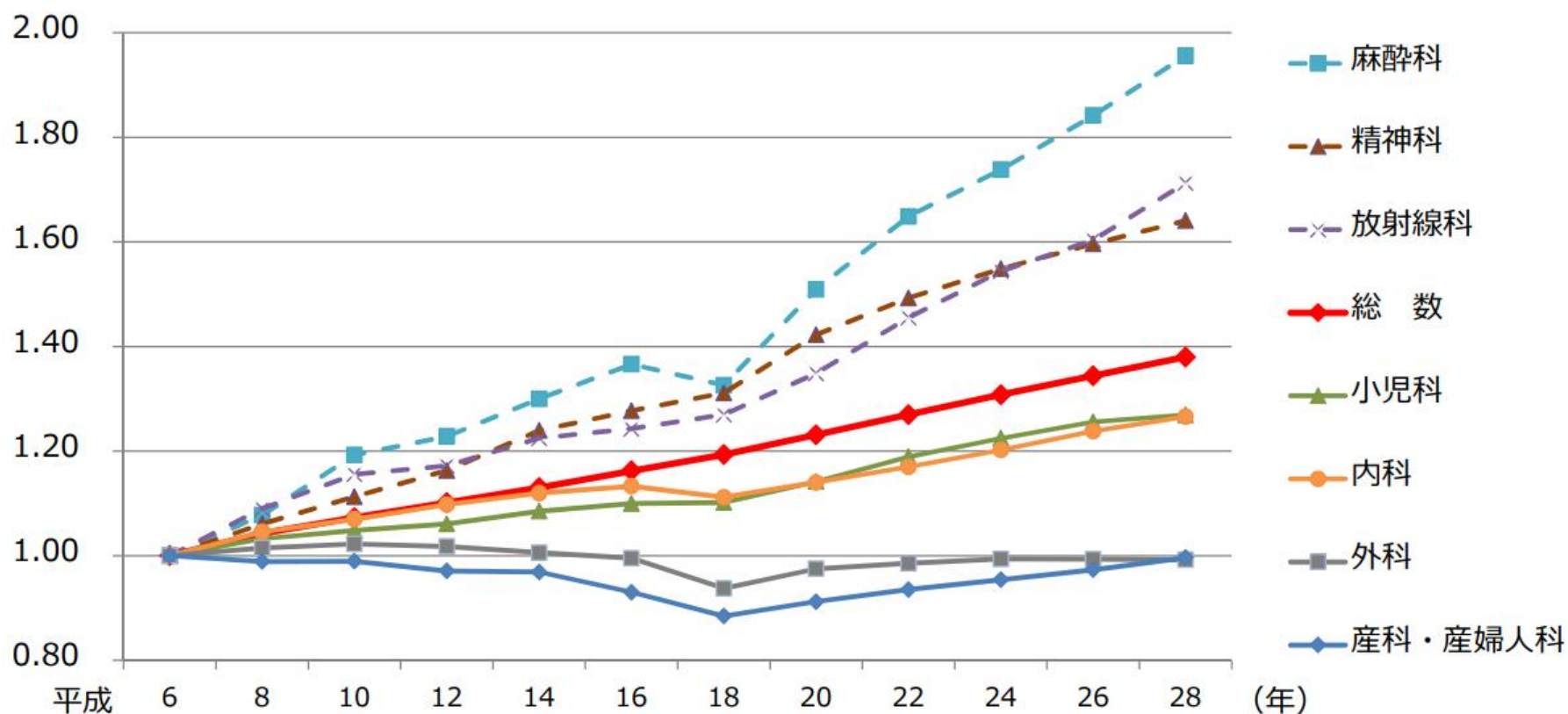
実態は稼働力のある**若手医師**が不足
診療科別、地域別でも不足

流出入を考慮した医師偏在指標 →地域ごとに適正な医師確保方針・施策策定へ

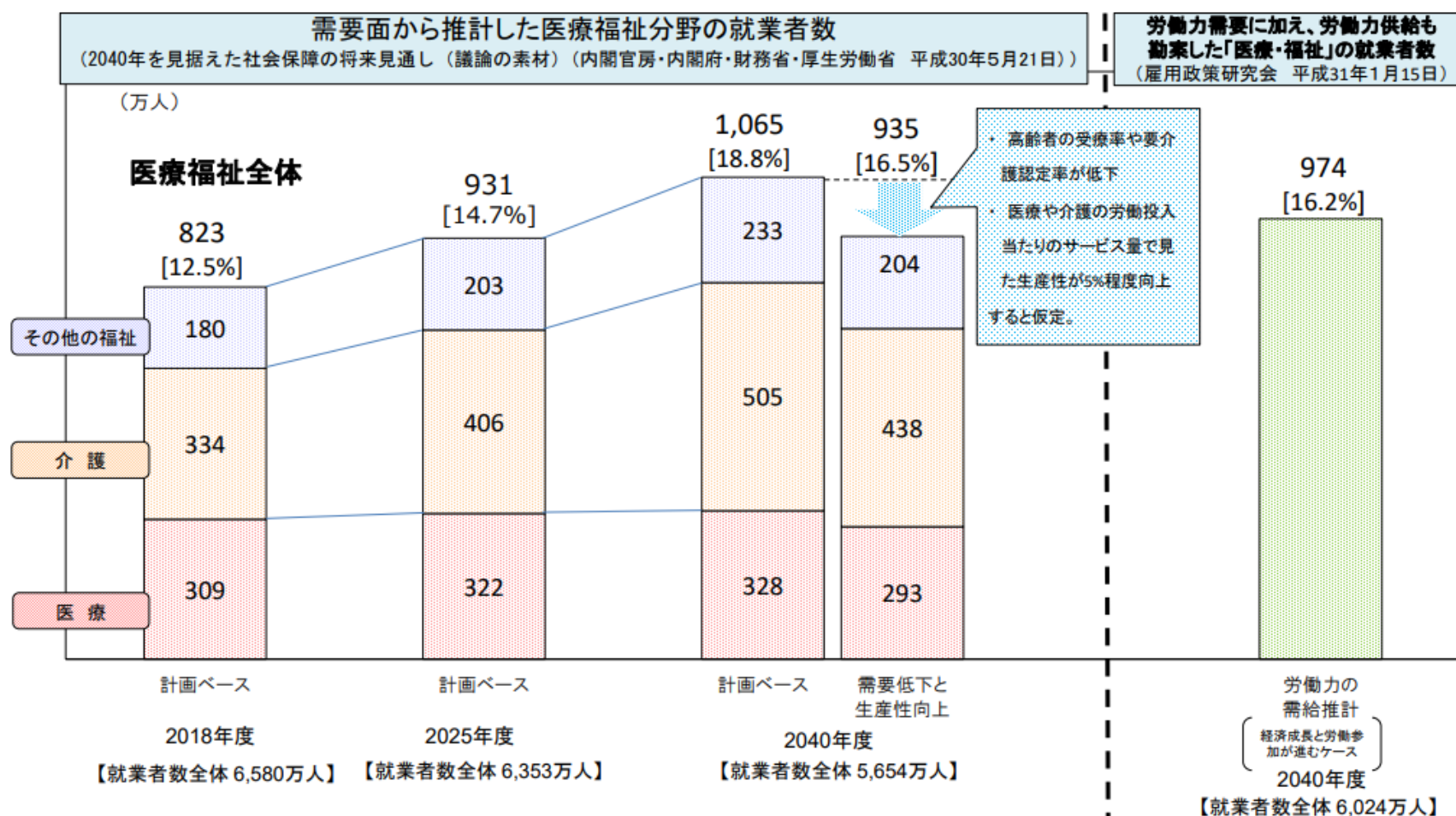


長時間労働、医療訴訟リスクの高い 外科、産科・産婦人科は横ばい

診療科別医師数の推移（平成6年を1.0とした場合）



医療需要低下と医療現場の生産性向上を勘案し 労働力の需給推計を調整



出典：厚生労働省 第28回社会保障審議会 今後の社会保障改革について－2040年を見据えて－ 平成31年2月1日

アジア各国は医師/看護師数や病床数が少なく、医療提供体制が不十分
国内市場が縮小傾向にある中、アジアの医療市場を獲得していくことが必要

		日本	先進国		アジア各国								
			OECD 平均	 US	 China	 Singapore	 Malaysia	 Thailand	 Indonesia	 Philippine	 Vietnam	 Cambodia	 Myanmar
医療水準	人口千人 当たり医師数	2.4 (^{'14})	2.6 (^{'14})	3.4 (^{'15})	1.7 (^{'14})	2.3 (^{'15})	1.6 (^{'15})	0.4 (^{'15})	0.4 (^{'15})	1.2 (^{'15})	0.8 (^{'15})	0.17	0.6
	人口千人 当たり看護師数	11.0 (^{'14})	11.3 (^{'15})	9.0 (^{'15})	2.2 (^{'14})	5.8 (^{'13})	3.3 (^{'10})	2.1 (^{'10})	1.2 (^{'13})	6.0 (^{'04})	1.2 (^{'13})	0.8 (^{'12})	1.0 (^{'12})
	人口千人 当たり病床数	13.2 (^{'14})	2.8 (^{'14})	4.7 (^{'15})	4.2 (^{'12})	2.1 (^{'13})	1.9 (^{'12})	2.1 (^{'10})	0.6 (^{'11})	0.5 (^{'10})	2.5 (^{'12})	0.7 (^{'13})	1.1 (^{'11})
	平均寿命 (^{'14} , yrs)	83.7 (^{'15})	78.8 (^{'15})	80.5 (^{'15})	76.0 (^{'15})	82.6	74.7	74.4	68.9	68.3	75.6	68.2	65.9
医療費	対GDP比 医療費 (^{'14} , %)	10.9% (^{'16})	17.2% (^{'16})	9.0% (^{'16})	5.5%	4.9%	4.2%	6.5%	2.9%	4.7%	7.1%	5.7%	2.3%
	医療費成長率 (CAGR '11-'15 (%))	3.0% (^{'12-'16})	4.1% (^{'12-'16})	3.7% (^{'12-'16})	11.0% (^{'09-'13})	9.4%	10.6%	6.0%	9.3%	9.4%	10.1%	-4.7% (^{'10-'14})	18.5% (^{'10-'14})

- この資料は投資家の参考に資するためMRT株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、本発表現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

<https://medrt.co.jp>

MRT株式会社

〒150-0041

東京都渋谷区神南一丁目18番2号 フレーム神南坂3F

TEL:03-6415-5280 FAX:03-6415-5282